ソフトバンクが発売する18万円超の「ライカスマホ」は買いか？

ソフトバンク＜9434＞は2021年7月に、独高級カメラメーカーのライカが全面監修する5Gスマートフォン「Leitz Phone 1」（ライツフォンワン）を発売する。価格は18万7920円（消費税込み）と、かなり高額だ。カメラファン垂涎（すいぜん）の的となりそうなライカスマホは「買い」なのか？

デザインはライカ、中身はシャープ

「Leitz Phone 1」はカメラ機能を充実し、高級コンパクトデジタルカメラと同じ1インチ画像センサーを搭載。暗い場所や動きの早い被写体もきれいに撮影できるという。カメラ以外の性能は「普通の第5世代（5G）スマートフォン」だ。

実は「Leitz Phone 1」のベースはシャープ製の「AQUOS R6」。違いはライカのロゴとスマホのデザインだけだ。レンズも同じ。ライカの監修を受けたレンズは同社ブランドの「SUMMICRON（ズミクロン）」を冠しているが、製造しているのはライカではなくシャープ子会社のカンタツ（東京都品川区）だ。

ライカ監修のレンズを内蔵するなど性能は全く同じシャープ「AQUOS R6」（ソフトバンクホームページより）

つまり両スマホの「中身」は全く同じなので、ライカブランドに7万円を支払えるかどうかが「買い」の判断材料になる。もちろん「Leitz Phone 1」と「AQUOS R6」のどちらで撮影しても、同じ写真が撮影できるはずだ。

スマホもライカで！ならば「買い」

仕様比較表

機種名Leitz Phone 1AQUOS R6iPhone12 Pro

メーカー
シャープ
シャープ
アップル

OS
Android
Android
iOS

価格（税込）
18万7920円
11万5632円
11万7480円

カメラ数
1
1
3

カメラ①
⊠/1.9
⊠/1.9
超広角：⊠/2.4

カメラ②
ー
ー
広角：⊠/1.6

カメラ③
ー
ー
望遠：⊠/2.0

カメラ画素数
2020万/1260万画素
2020万/1260万画素
1200万画素

レンズ
7枚構成
7枚構成
5~7枚構成

ディスプレイ
6.6インチ 有機EL
6.6インチ 有機EL
6.1インチ 有機EL

通信方式
5G Sub6帯
5G Sub6帯
5G Sub6帯

重量
212g
212g
187g

2015年3月にパナソニック＜6752＞が、ライカ監修の1インチ画像センサーカメラと4G LTE通信機能を搭載したAndroid端末の「LUMIX DMC-CM1」を2000台限定で発売している。メーカーは違うが、その後継モデル的な位置づけだ。

ライカ監修のカメラを搭載したAndroid端末 パナソニック「LUMIX DMC-CM1」（同社ホームページより）

もっとも「LUMIX DMC-CM1」はパナソニックブランドだった。カメラだけでなく、スマホもライカブランドで揃えたいという熱心なファンならば「Leitz Phone 1」は「買い」だろう。ただ、「良い写真を撮りたい」だけならば、全く同性能で7万円以上安い「AQUOS R6」をお勧めする。

文：M＆A Online編集部